資料2

行動計画
第１次中間とりまとめ
（イメージ）

空港DX技術　行動計画（第１次中間とりまとめ）　【〇〇空港】

行動計画により取り扱う技術・領域・インフラの候補

優先順位	空港DX技術 インフラ整備	選定理由・期待される効果
①		
②		
③		
④		
⑤		
⑥		

空港におけるDX技術実装化に向けた課題抽出

論点	論点の概要	論点の要因・想定される対応等
充電設備の整備主体	～。	～。
電源設備の増強		
通信環境の改良		

空港における空港DX技術導入・インフラ整備計画（R9～10年度）

空港DX技術 インフラ整備	台数 整備箇所	事業年度	事業概要 事業効果

行動計画
第２次中間とりまとめ ver1
（イメージ）

空港DX技術　行動計画（第2次中間とりまとめver1）　【〇〇空港】

検討対象一覧（空港DX技術・インフラ）

	選定理由・期待される効果
①自動走行トーイングトラクター	
②充電設備	
③	
④	
⑤	
⑥	

【①自動走行トーイングトラクター】

ランプハンドリング

導入状況

導入状況（2026年8月時点）

【台数、整備主体等】
・

議論が必要な論点

論点	論点の概要・要因	検討の進め方
充電設備の整備主体	～。	～。
電源設備の増強		
通信環境の改良		

行動計画
第２次中間とりまとめ ver2
（イメージ）

空港DX技術　行動計画（第2次中間とりまとめver2）　【〇〇空港】

目標一覧（空港DX技術・インフラ）（案）

	2030年		2035年	
全体目標	【アウトカム】 %生産性向上等		【アウトカム】 %生産性向上等	
①自動走行トーイングトラクター	【台数・割合】	【アウトカム】	【台数・割合】	【アウトカム】
②充電設備	【台数・割合】	【アウトカム】 ー		
③				
④				
⑤				
⑥				

【①自動走行トーイングトラクター】

ランプハンドリング

生産性向上の目標（案）

導入状況（2026年8月時点）

【台数、整備主体等】
・

導入状況（2030年目標）

【台数、整備主体等】
・

【アウトカム】
・〇%省力化（or〇%生産性向上）
・〇人／〇台減少

導入状況（2035年目標）

【台数、整備主体等】
・

【アウトカム】
・〇%省力化（or〇%生産性向上）
・〇人／〇台減少

【①自動走行トーイングトラクター】

ランプハンドリング

論点と解決に向けた方向性

	論点の概要・要因	解決に向けた方向性
充電設備の整備主体	～。	～。
電源設備の増強		
通信環境の改良		

【①自動走行トーイングトラクター】

ランプハンドリング

ロードマップ（案）

項目	主体	2027年	2028年	2029年	2030年	～	2035年
車両の導入	【航空会社】 ・○○ ・○○	○○		○○		○○	
充電設備の整備	【空港ターミナルビル会社】 ・○○	○○					
通信環境の改善	【空港関係事業者】 ・	○○		○○			
		○○					

行動計画
最終とりまとめ
（イメージ）

空港DX技術　行動計画

【〇〇空港】

目標一覧（空港DX技術・インフラ）

	2030年		2035年	
全体目標	【アウトカム】 %生産性向上等		【アウトカム】 %生産性向上等	
①自動走行トーイングトラクター	【台数・割合】	【アウトカム】	【台数・割合】	【アウトカム】
②充電設備	【台数・割合】	【アウトカム】 ー		
③				
④				
⑤				
⑥				

【①自動走行トーイングトラクター】

ランプハンドリング

生産性向上の目標

導入状況（2026年8月時点）

【台数、整備主体等】
・

導入状況（2030年目標）

【台数、整備主体等】
・

【アウトカム】
・〇%省力化（or〇%生産性向上）
・〇人／〇台減少

導入状況（2035年目標）

【台数、整備主体等】
・

【アウトカム】
・〇%省力化（or〇%生産性向上）
・〇人／〇台減少

【①自動走行トーイングトラクター】

ランプハンドリング

論点と解決方針

	論点の概要・要因	解決方針
充電設備の整備主体	～。	～。
電源設備の増強		
通信環境の改良		

【①自動走行トーイングトラクター】

ランプハンドリング

ロードマップ

項目	主体	2027年	2028年	2029年	2030年	～	2035年
車両の導入	【航空会社】 ・○○ ・○○	○○		○○		○○	
充電設備の整備	【空港ターミナルビル会社】 ・○○	○○					
通信環境の改善	【空港関係事業者】 ・	○○		○○			
		○○					

行動計画
第２次中間とりまとめ ver1
（イメージ）

実装前技術用

空港DX技術　行動計画（実装前技術）（第1次中間とりまとめ）

【〇〇空港】

検討対象一覧（空港DX技術・インフラ）

	選定理由・期待される効果
①自動走行トーイングトラクター	
②充電設備	
③	
④	
⑤	
⑥	

【①自動走行トーイングトラクター】

ランプハンドリング

議論が必要な論点

論点	論点の概要・要因	検討の進め方
充電設備の整備主体	～。	～。
電源設備の増強		
通信環境の改良		

行動計画
第２次中間とりまとめ ver2
（イメージ）

実装前技術用

空港DX技術　行動計画（実装前技術）（第2次中間とりまとめ）

目標一覧（空港DX技術・インフラ）（案）

【〇〇空港】

①自動走行トーイングトラクター	【導入目標（時期）】	【導入目標（台数・割合・設置場所等）】
②充電設備	【導入目標（時期）】	【導入目標（台数・割合・設置場所等）】
③		
④		
⑤		
⑥		

【①自動走行トーイングトラクター】

ランプハンドリング

実装に向けた論点と解決に向けた方向性

	論点の概要・要因	解決に向けた方向性
充電設備の整備主体	～。	～。
電源設備の増強		
通信環境の改良		

【①自動走行トーイングトラクター】

ランプハンドリング

ロードマップ（案）

項目	主体	2027年	2028年	2029年	2030年
車両の導入	【航空会社】 ・○○ ・○○	○○		○○	
充電設備の整備	【空港ターミナルビル会社】 ・○○	○○			
通信環境の改善	【空港関係事業者】 ・	○○		○○	
		○○			

行動計画
最終とりまとめ
（イメージ）

実装前技術用

空港DX技術　行動計画（実装前技術）　【〇〇空港】

目標一覧（空港DX技術・インフラ）

①自動走行トーイングトラクター	**【導入目標（時期）】**	**【導入目標（台数・割合・設置場所等）】**
②充電設備	【導入目標（時期）】	【導入目標（台数・割合・設置場所等）】
③		
④		
⑤		
⑥		

【①自動走行トーイングトラクター】

ランプハンドリング

実装に向けた論点と解決方針

	論点の概要・要因	解決方針
充電設備の整備主体	～。	～。
電源設備の増強		
通信環境の改良		

【①自動走行トーイングトラクター】

ランプハンドリング

ロードマップ

項目	主体	2027年	2028年	2029年	2030年
車両の導入	【航空会社】 ・○○ ・○○	○○		○○	
充電設備の整備	【空港ターミナルビル会社】 ・○○	○○			
通信環境の改善	【空港関係事業者】 ・	○○		○○	
		○○			